

ユニークな活動成果の例

1. 事業仕分け

2002年に構想日本が開発し、100以上の地方自治体、政党(自民党、民主党)、政府、国会などで**計200回以上実施**。毎回、現地調査を行い、行政と現場の実態の落差を見つける。2013年4月、安倍政権も、事業仕分けの進化形である「行政事業レビュー」の**毎年度実施**を閣議決定。

2. 省庁の再編(通称・橋本行革)

官庁の裁量行政の温床となっていた「**権限規定**」を**法律から削除**する提言。1年以上にわたる実現キャンペーンや代表の加藤の衆議院行革特別委員会における説明などを経て、1999年の**省庁設置法改正**において実現。

3. NPO法人、公益法人制度

公共的な事業を行政だけでなく民間が行いやすくなるための受け皿作り。いわば**包括的な規制改革**。NPO法案は構想日本発足時、公益法人制度改革案は2001年に発表。構想日本自身が「**民間法制審議会**」を設け、さらに政府有識者会議に代表加藤が加わるなどの活動を経て、2006年**公益法人制度改革関連法**成立。

4. 国、自治体の財務諸表

1999年**国のバランスシート**を試算し発表。それがきっかけとなり非公式ながら政府は国の財務諸表を作成。過剰な公共施設が重大な問題となる中で国、自治体ともに作成が不可欠。企業の損益計算書(P/L)にあたる「**行政コスト計算書**」は**構想日本の命名**。

ご参加、ご支援の方法

1. 知恵、経験、時間などを提供する

提言作成にあたって、私たちは現場の声、実情を重視します。「現場から見るとこの制度は変えるべき」「国の政策や事業が現場の実態と違う」などご意見をお寄せください。これこそが「現場力」です。ご意見を政策作りやその実現活動に生かしていきます。

2. 会員になる

構想日本の運営費は、主に会員の皆様からの会費で賄われています。是非、会員になって、サポートしてください。

会員種別	入会金	年会費	リニューズ受取り	リフォーラム無料参加	会員懇談会への参加	アドバイザー会種への参加	個別協力
個人会員	2千円 (web申請は免除)	1万円	●	●	●		
学生会員	2千円 (web申請は免除)	2千円	●	●	●		
法人会員A	30万円	300万円	●	● (従業員可)	●	●	●
法人会員B	30万円	50万円	●	● (従業員可)	●	●	●
法人会員C	5万円	10万円	●	● (従業員可)	●		

3. 寄付をする

会費同様、構想日本の運営費として活用します。また、特定のプロジェクトのための寄付も受け付けています。なお、「公益財団法人 信頼資本財団」を経由して寄付をいただくと、税制上の優遇を受けられます。詳しくは構想日本までお問合せください。

非営利中立の私たちに、
あなたのチカラをかしてください。

一般社団法人 **構想日本**

動くシンクタンク

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-9-2 エスパリエ平河町3F
TEL. 03-5275-5607 FAX. 03-5275-5617 <http://www.kosonippon.org>

結集しよう 現場力

教育

財政

エネルギー

金融

雇用

動くシンクタンク

**JAPAN
INITIATIVE**
構想日本

農業

行革

政治

文化

医療・介護

環境

日本の現場には、チカラがあります。
医療、教育、町づくり、産業、農業などの「現場」には、
随所にやる気、知恵、工夫、チカラがあふれています。

各方面に散らばっている「現場のチカラ」を
整理し、組み合わせ、活かしていく。
この「現場のチカラ」を結集することで、
日本をもっと素晴らしい国へ変えていく。
これが私たち「構想日本」がめざすものです。

1997年、非営利中立の「政策ベンチャー」として
動き出した私たちは、40近くの政策を
法律や閣議決定などの形で実現しました。
「事業仕分け」「住民協議会」など私たちが考え
編み出したユニークな手法で、現場と行政、政治をつなぐ。
そうやって政府や自治体を動かした例は
100を超えています。

すべての人が夢をもち、その実現のために
打ち込める社会をめざして「現場力」を結集する。
そのチカラを政治や行政に入れ込み、
世の中をダイナミックに変えていく。
欧米にも例のない「動くシンクタンク」の姿を
日本から示していきます。



構想日本 代表
加藤秀樹

現在進めている取り組み ～現場からの政策提言、地域づくり～

1. 住民協議会

住民と行政が地域の課題を共有し、解決するしくみを構想
日本が開発 ⇒ 福岡県大刀洗町でゴミ問題について実験
中。自治体変革の最先端の動きとして全国的に注目。

2. 医療制度（プライマリケア制度）

現場の医師や研究者の問題提起 ⇒ 医療関係者と議論を
重ね、提言案作成 ⇒ 医師、病院経営者、政府及び自治体
職員などと更に議論し提言を完成 ⇒ 実現のための活動へ。

3. 教育行政

文科省の中央集権が教育の問題の本質だとする市町村長や教師の
声を具現化し、教育行政分権化の提言作成 ⇒ 106名の市町村
長とともに共同アピール(2005年) ⇒ 再度キャンペーンを開始。

4. 地域金融

金融超緩和にもかかわらず、中小企業金融は不十分という全国
の声 ⇒ 地域金融機関が国債などでの運用から地域で貸す方向
に転換する「金融の地産地消」を提言。県などと協力し実行へ。

5. 政党ガバナンス（政党法の制定）

会社運営にはルールがある（会社法など）のに政党運営に
はルールなし。これが金、不祥事などの問題の大きい原因
⇒ 政党法の提言。

毎月開催！ J.I.フォーラム
(2014年5月現在200回開催)
全国各地の「変革者」を招き、
現場の視点や感性と専門家の
英知を結びつける場として開催。

武藤琴美さん 地域の記憶代表
(福島県南相馬市在住)



東日本大震災直後に南相馬に移住しまし
た。構想日本の皆さんに「現場から」とい
う考えに共感して頂き、力をもらいました。

吉田拓巳さん 7sense Inc. Founder&CEO、
JUDGIT! 制作者(福岡県福岡市在住)



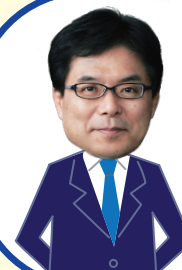
ウェブサービス「JUDGIT!」を通じ、未来が
良くなる活動をいっしょにしています。今後も
社会変革のムーブメントを起こしていきたい！

清水忍さん 学生 事業仕分け経験者
(山梨県南都留郡在住)



事業仕分けに参加。他人事だった行政を
身近で感じた。「何のため」「誰
のため」と考えるきっかけを与えてく
れた構想日本。今後も参加します。

増田寛也さん 野村総合研究所 顧問、
前岩手県知事、元総務大臣(東京都在住)



「神は現場に宿る」国や地方の政治、行
政に携わった実感です。事業仕分けの
革創期、岩手県の現場で受けた衝撃は
忘れられません。市民の立場で現場か
ら動く「構想日本」に期待しています。

森本千絵さん アートディレクター(東京都在住)



構想日本のロゴを作らせて頂いた。その時、加藤
さんに平等な想いと、夢に近づく行動力、良いも
のを見抜く力を感じた。少しでも心地のよい国と
なるために、見守りたい。

福井正興さん 株式会社福寿園
代表取締役社長(京都府木津川市在住)



長く商売を続けることができてるのは、
常に進取の精神で果敢に挑んできたか
ら。国家提言、政策づくりも同様です。構
想日本に期待しています。